



幕末の外交官、岩瀬肥後

参議院議員
客員相談役 藤井 基之



TPP協定に日本も参加すべきか、国会も世論も大きく二つに割れています。

TPP協定は、日本語では、ちよつと舌を噛みそうですが「環太平洋戦略的経済連携」と呼ばれています。要するに太平洋を取り巻いている国々の間で、関税を下げるなどもっと自由に貿易できるように協定を結ぼう、という協議の場です。

日本では、このTPP協定参加を巡って大議論が巻き上がっていますが、TPP協定参加に賛成する側は、日本は工業製品の貿易によって成り立っている国なのだから、TPPでもリーダーシップを取って積極的に議論に加わるべきだと主張し、一方、反対する側は、特に日本の農業の現状を考えた時、米作をはじめ零細な農家が大きな打撃を

受ける、という主張をしています。菅前首相は、TPPへの参加を第二の「開国」と呼びましたが、物品の関税ゼロを目標とするTPPの基本原則は「開国」と言えるかもしれません。

ところで百五十年前の幕末、日本は、米国の黒船来航を機に、二百八十年続いた鎖国をやめ、開国しました。開国に当たって、米国、英国、ロシアなど列強外交団との厳しい外交交渉が行われましたが、この交渉に当たった幕府閣僚に岩瀬肥後（岩瀬忠震）という人がいました。幕末から明治維新にかけて活躍した人物としては勝海舟や西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允、そして坂本龍馬などが有名ですが、この岩瀬肥後のことは余り知られていません。

岩瀬は旗本でしたが、老中の阿部正弘に見いだされて目付になりました。そして、蛮書調所、長崎海軍伝習所などを開設したり、軍艦や砲台建設に力を尽くしました。勝海舟や西洋砲術の江川太郎左衛門などを抜擢したのも岩瀬でした。

島崎藤村の「夜明け前」という有名な小説がありますが、この岩瀬肥後の話が出てきます。藤村は、次のように岩瀬肥後という人物を描写しています。

「幕府有司のほとんど全てが英米仏露をひきくるめて一概に毛唐人と言っていたような時に立って、百方その間を周旋し、いくらかでも明るいう方へ多勢を導こうとしたものの権心と努力とは想像も及ばない。岩瀬はそれを成した人だ。最初の総領事ハリスが来航して、

いよいよ和親貿易の交渉を始めようとした時、幕府の有司はみな尻込みして、一人として背負って立とうとするものがない。皆手を拱いて岩瀬肥後を推した。そこで彼は一身を犠牲にする覚悟で、江戸と下田の間を往復して、数カ月もかかった後にようやく草稿の出来たのが安政の年の条約だ。」

よく、テレビドラマなどで、幕府の担当者が欧米外交団との交渉にオロオロして、ろくに主張もできなかったように描かれますが、事実は全く違っていたようです。藤村は、「条約交渉の相

手方なる欧羅巴人が次第に態度を改めて来たことも忘れてはならない。」「亜米利加領事ハリス、その書記ヒュウスケン、英吉利の使節エルジン、その書記オリファント、これらの人たちはいずれも日本を知り、日本の国情というものをも認めた。中には、日本にきた最初の印象は思いがけない文明国の感じであったとさえ言った人もある。」「彼が頭がよかった証拠には、英吉利使節らが彼の聡明さに驚いたというくらいだ。」とも書いています。

理由の一つに、政府の外交交渉力に対する懸念もあるのではないのでしょうか。尖閣列島問題、竹島問題等の経過を思うと、TPPに参加した場合、現政府の外交交渉力では、特に米国による要求を押し返すことは無理なのではないかと。百五十年前、長い鎖国から目覚めたばかりの日本に、岩瀬肥後のような外交交渉力をもった外交官がいました。まして、グローバル化が進み、世界第三位の経済力をもった今日、日本は、もっと自国の力に自信を持つ必要があるのではないのでしょうか。

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参議院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人日本薬剤師会 常務理事
平成13年 参議院議員(1期目)
平成16年 厚生労働大臣政務官(平成16年9月~平成17年11月)
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問
平成22年 参議院議員(2期目)
- その他
慶應義塾大学薬学部 客員教授
昭和大学薬学部 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
京都薬科大学 客員教授
近畿大学薬学部 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師